



国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京都港区新橋5-15-5
交通ビル4階
発行責任者 杉本洋一
編集責任者 小山謙一

国労らしく仲間との総団結で闘う

東海本部が第29回定期大会を開く

国労東海本部は8月9日、東京・大崎で第29回定期大会を開催しました。

大会では、この1年間の闘いを総括したうえで、新たな闘う方針を確立するために多くの意見が出されました。また、組織の強化と拡大を組合員一人ひとりがやり抜くことや憲法を守る闘い、また「残業代ゼロ法案」を導入する等の労働法制改悪の動きとの闘いを、多くの仲間と共同で作り上げること等の方針を確立しました。

定期大会は、台風接近で終了の予定時間を大幅に切り上げざるを得ない中、議長に名古屋地本に加藤修一代議員を選出して議事に入りました。

杉本委員長の挨拶(2面に要旨を掲載)の後、交運共済東海事業本部の菅沼本部長とJAL不当解雇撤回闘争の乗員原告団の清田事務局長と客乗原告団の杉山事務局長のそれぞれから来賓挨拶を受け、国労本部・小池業務部長が挨拶を行いました。

大会では11人の代議員が発言。組織拡大、春闘での取り組み、駅無人化反対の取り組みや憲法を守る闘いについて等多岐にわたりました。

これらの発言を受け集約答弁した上野書記長は、組織拡大はなかなか厳しい状況もあるが議論を継続しながら取り組んでいることや、職場でそれぞれに工夫しながらの経験が報告された。闘いの中で機関紙活動の定着や分会活動の活性化等の前進も始

めくり、満場の拍手で方針が確立されました。
2014年度役員改選が行われ、会計監査に新幹線地本の坂下智康さんが選出されました。なお、土田健一・会計監査が退任しました。

代議員の発言から

(発言順・敬称略)

大西憲二(名古屋)

全員で分会会議を開き、「気軽に声をかけていこう」と意思統一しながら組織拡大に奮闘している。他の労組では職場の諸問題の解決には対応しておらず、会社に対してはつきり物を言っつて労働条件に対して権利を主張しているから、国労に大きな期待が寄せられている。他労組の仲間に加いへの働き掛けを強めたい。会社は、無人化を進めながらリニア建設を進めていることは矛盾。都市と地方の格差が進むことになり、公共交通としての最低限の駅のサービスの確保が重要になっている。

国労は、反戦・平和や要求実現のために多くの仲間と共に一致した要求で多くの労働者・国民と共に闘ってきた。これからも闘うことが重要で、仲間を信じてみんなで議論して、大きな闘いを作り出していきたいと締

栗田浩(新幹線)

記入式の職場アンケートに取り組んだ。新入社員の意識として賃金等で将来的に魅力がないということ若年退職が増えている。賃金等の面で改善が必要。

定期昇給に關しても労働意欲がなくなるので額を上げることが必要になっている。来春闘でも職場アンケートに取り組み、さらなる回収率アップを目指したい。

浦田浩幸(静岡)

函南駅は7月からホーム要員がなくなった。これによって車掌はホームのモニターで安全を確認するなど責任重大となり安全に問題がある。改善のために今後も要求していく。JALの国家的不当解雇撤回の闘いでは、地本で判決集会を開いて、約50人が参加した。最高裁での勝利に向けて個人・団体署名、宣伝行動やキャラバン活動に取り組む。地本は地域で様々な課題で多くの団体と共同してきた。今後も総団結して奮闘したい。

木下淳治(名古屋)

リニア建設に關して地域では貴重な植物群が破壊されようとしている。本体工事だけでなく環境の面で大きな不安だ。エリア本部としての考え方を明確にしてもらいたい。原発や放射能の問題だけでなく、利用者や組合員の問題として会社に建設強行に關して申し入れてほしい。(2面に続く)

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかりと組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

(1面からの続き)

小海誠(静岡)

今年には貨物の青年が加入した。東機関区分会では機関紙を週刊化し、組織拡大と分会活動を活発に展開している。職場では出向者の労働条件改善が急務となっている。東海交通事業の社員はJRと同じ仕事をしていてもJRに入社する道がない。切実な問題となっている。

井上昭彦(静岡)

貨物会社は社員・家族の期待を裏切る15年連続のベア・ゼロ

杉本委員長あいさつ(要旨)

杉本委員長は挨拶の冒頭で、「代議員の真摯な討論で大会を成功させ、闘う方針を確立したい」と本大会の任務について述べた。

原発問題では、世論調査でも「減らすべきだ」「すべて廃止すべきだ」が合わせて8割近くとし、国労として多くの仲間とともに原発に依存する社会からの脱却を目指した闘いを推し進めたい」と述べた。

集団的自衛権行使の憲法解釈を容認する閣議決定の問題では、「明確な憲法9条違反だ」として廃止・撤廃を求め、声は日増しに大きくなっている中、「国民と共に反戦平和を闘ってきた私たち国労が、編頭の基に反戦平和を貫き、垣根を越えた大きな運動で一

の回答を行い、夏季手当においても会社自ら示していた生活給

1・5カ月を今回も下回る1・25カ月の回答だった。福利厚生

なども切り下げられ良い人材が確保できる会社ではなくなっている。技術継承もままならない。これらの負のスパイラルを断ち切る闘いが必要だ。単一組合としての利点を生かしてさらなる組織拡大を目指す。

桐生勝(新幹線)

今春闘での3・12統一行動では、朝のビラ配りに始まり夜の

層の世論喚起を行い、絶対に戦争を起させないための運動を国民と共に展開していきたい」と決意を述べた。

政府が財界・大企業が求める「残業代ゼロ」制度という労働時間規制を外す新たな制度を導入することについて、「労働者を成果で競争させ、際限なく働かせる仕組みをつくるもの」と批判し、引き続き運動の強化を呼びかけた。また、「世界で一番企業が活動しやすい国にするために

行われてきた施策のツケは、富裕層や大企業などに多大な恩恵をもたらす一方、庶民に与えたのは負担増だけであり格差と貧困がますます広がっているとして、「来春闘ではこれ以上の増税をはじめとして国民の生活をないがしろにする政策を許さず、全国の国

集会とのべ47人が参加。職場3

大要求では、アンケートに取り組み、3項目に決定して管理職

へ提出した。引き続き実現に向けて取り組む。職場ではチェックに多くの時間が割かれ、またペーパーテストが多用されてプレッシャーでストレスを感じている。また、消費税増税の関係で通勤経路が変更された組合員が出てくる。乗り継ぎが悪く利便性が失われた。改善が必要だ。全国大会での混乱の問題点を本部は、説明すべきである。

土屋恵輔(名古屋)

出向問題で他労組の仲間から声をかけられて相談に乗った。

国労加入を訴えて加入書を書いてもらったが、会社から妨害があった。しかし、本人の意向が強くなり加入を果した。出向をきっかけに相談を積極的に聞いてきた結果であり、今後も引き続き拡大に全力をあげたい。

土谷敏幸(名古屋)

駅の合理化問題が進んでいる。武豊線では10月には遠隔運行が始まる。利用者アンケート、ビ

とはいえない状況」として、また、全国大会では、リニア中央新幹線の検証、「国民的議論を、今こそ」という報告が行われたことから、「公共交通に働く労働者・労働組合として地域住民・沿線自治体などをはじめ、国民的議論の提起をしたい」と述べた。

国労の最重要課題である組織拡大では、「本気で乗り越える気持ちを持って、点から線に大きな流れにつながるよう全員で取り組みたい」と訴えた。

最後に委員長は、「多くの課題が私たちの前に立ちだかっているが、国労は常にその壁を乗り越え、闘う労働組合としての組織を今につないでいる。今こそ仲間の総団結で困難を乗り越えて行こう」と呼びかけました。

ラ配り等で地域住民の声を集めている。その中では駅での切符

の購入や治安・マナーの低下等

が心配になっている。これ以上無人化駅を増やさないことが重要だ。労働条件と安全向上を会社に申し入れる労働組合の存在が必要だ。そのためにも組織拡大に努力したい。

西里重則(新幹線)

全国大会の混乱は3役にあるものと思う。今春闘では、統一

3大要求の確立とともに、統一行動では朝の宣伝から学習会、集約集会、JAL闘争の取り組み等のべ263人が参加した。確実に要求が前進していることを実感している。国労運動を行っていく上ではナショナルセンター連合との関係が重要である。

岩屋雄二(名古屋)

安倍政権の暴走にストップをかける闘いが今、最も重要と考える。戦後69年、戦争か平和の岐路に立っている。今、安倍内閣打倒の闘いに国労の旗を高く掲げたい。国労の役割は労働者の切実な要求実現、生活と権利を守る、会社にはつきり物を言うことだ。組織拡大は非常に厳しいが闘っていくことが国労の役割と認識している。

最後に委員長は、「多くの課題が私たちの前に立ちだかっているが、国労は常にその壁を乗り越え、闘う労働組合としての組織を今につないでいる。今こそ仲間の総団結で困難を乗り越えて行こう」と呼びかけました。

「がん」の保障 << 生きるためのがん保険Days(デイズ) >>

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円	上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円	
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円	
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円	
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに1か月 10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)	乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際 5万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	
	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)	

プレミアサポート

詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料
払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>
アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日
TEL:03-3437-6810 FAX:03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル9F
<引受保険会社> アフラック 東京第三生命 東京海上
163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-555-95